



遠大勵志

コロナウイルス感染リスク 回避のため為すべきこと

連日、テレビや新聞等でコロナウイルス感染についての報道がなされています。大都市だけに限らず、地方でも罹患者が増えてきている状況を受け、私たちの意識を変えていく必要性を強く感じているところです。

感染経路も不明な罹患者も増えている現状ですので、しっかりと自衛をしていくことが大切になります。校長通信No.5でも注意点を8点あげましたが、まだまだ徹底できていない部分があるように思います。再度の確認です。

1 不要不急の外出は控えること。

今週末の土日はもちろんのこと、GWも県外への外出・旅行はしないこと、県内での移動もできるだけ避け、自宅で過ごしましょう。(感染地域への外出をしなければならない場合には、先生方に相談してください)

2 毎朝の検温をすること。

毎日の検温をしばらくは継続してください。検温は体調が悪くときだけするものではありません。(体調が良くても発熱している場合もあるとのこと。)検温したら、その結果を学年の先生方の指示通りにクラッシーへ記録してください。検温せずに教室に入る生徒はいないと思っていますが、一人一人が意識を高く持って対応してください。もちろん、熱が高いときや体調の悪いときには無理せずに自宅で療養してください。

3 手洗いの励行。

消毒液(ポンプタイプ)が、教室をはじめ至る所に配置してあります。折に触れてそれを使用すること。また、手洗い場でしっかりと手洗いをするなど、習慣づけてください。

4 マスクの着用をすること。

授業中はもちろん、登校時・下校時も着用してください。自分の飛沫が相手に飛ばないようにするためのマスクの着用です。お互いに相手思いやる行動としてのマスク着用です。

5 換気の徹底をすること。

副校長先生や教科担当の先生方が、教室の換気を促してくれていますが、換気した方がいいなと思った人が、主体的に窓や教室のドアを開けることをお願いします。多少の寒さを感じる僅かな時間があるかもしれませんが、換気は大事だと言われています。

6 昼食時の対面は避けること。

楽しく昼食を取りたい気持ちは十分に理解できますが、当面はマスクを外した近距離での会話は控えたいということです。趣旨を理解して下さい。

7 十分な睡眠と運動と食事に心がけること。

通信No.1, 2でも書きました。抵抗力や免疫力を高めるにはいずれも大切なことです。意識して心がけてほしいものです。

8 部活動で心がけること。

部活動参加に不安を感じる人は、遠慮なく顧問や担任に相談してください。決して強制ではありません。参加する際には、一人一人の距離感を確保しながら、(今まで練習していないブランクがあるので)無理をしないことです。部員で共有する物を使った後には、必ず手洗いをし、共有した物を消毒してください。

Stay home!

- ・自律した生活を過ごすこと
- ・遅れている学習にしっかりと取り組むこと